

下関市立大学附属地域共創センター 産官学シンポジウム (オンライン)

「下関酒造による下関産農産物の生産とブランド化」

無料

下関酒造が海外や国内での地場産業として発展してきた経緯と今後の取り組みについて報告する。また、下関産農産物の生産と販売について、民間と行政が連携して取り組む意義について整理する。

本シンポジウムは、下関市の産業を育成することにより、下関経済を発展させることのできる要因を見つけ出すとともに、産業を支える人材育成について提言を頂く。特に、本学学生が下関産業に対して期待できることを話す。

◆日時：3月16日(火) 18:30~20:00

◆場所：オンライン開催・Zoomを使用します。(自宅等から視聴可能)

◆参加費：無料(視聴に伴う通信料は各自負担)

◆申込み：必要(Webからの申込みに限ります)

◆申込締切：3月9日(火) ◆定員：100名

◆必要ソフト：Zoomアプリ(無償版で視聴可)

◆その他：Zoomのインストール、設定等は事前に各自で行うよう願います。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内での視聴は学生・教職員に限ります。



コーディネーター：難波利光 下関市立大学経済学部教授・地域共創副センター長

はじめに 開会挨拶・問題提起

第1部 各シンポジストによる報告

I：三科仁伸 下関市立大学経済学部准教授

「下関市における小規模酒造業者の経営展開 -下関酒造を事例として-」

II：内田忠臣 下関酒造株式会社代表取締役

「下関酒造による取り組み」

III：藤永清一 山口県農業協同組合

下関統括本部総務管理部長

「下関産農産物のブランド力強化」

IV：岡山 学 下関市農林水産振興部農業振興課長

「下関産農産物の生産振興」

第2部 シンポジスト対談

おわりに まとめ・閉会挨拶



■お申込み&お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp

産官学シンポジウム（オンライン）

お申込みについて

お申込みはWebからのお申込みに限ります。
下記記載のURL、または二次元バーコードからお申込み画面にお進みください。

申込み締切は3月9日（火）です。

申込URL：<https://forms.gle/NvbHnnNYLvD93hMFA>

二次元バーコードはこちら：



※申込みに伴う個人情報は厳重に管理し、業務以外での目的・用途では使用しません。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内での視聴は学生・教職員に限ります。

ご参加の際はZoomアプリ（無償版で視聴可能）をインストールし、各自で設定等を行うよう願います。（設定に伴うご質問や当日の通信トラブル等について、個別に対応することができません。予めご了承ください。）
参加費は無料ですが、視聴に伴う通信料は各自でご負担ください。
開催当日までにEメールにてZoomへの入室案内を送ります。